

Title	環境保護に関する西洋と東洋の根本的な考え方の違い
Author(s)	思, 沁夫
Citation	
Issue Date	2013
oaire:version	
URL	https://hdl.handle.net/11094/25858
DOI	
rights	夢ナビ編集部 Copyright(c) 2008-2013 Frompage Co.,Ltd. All Rights Reserved.
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

関心ワード

[ゴミ](#)、[アジア](#)、[環境](#)、[経済](#)、[自給自足](#)、[モンゴル](#)、[東洋](#)、[西洋](#)、[狩猟](#)、[少数民族](#)、[自然](#)、[文化](#)、[伝統](#)、[捕鯨](#)

文化・教養学 環境学

[←ホームへ戻る](#)

講義No.05297

環境保護に関する西洋と東洋の根本的な考え方の違い

捕鯨をめぐる西洋的視点と東洋的視点

経済成長が著しい東アジアでは、同時に環境破壊も進んでいるため、いかに環境を守るかが重要な課題となっています。もちろん環境は保護するべきであり、環境保護は良いことです。しかし、環境保護について西洋の視点と東洋の視点が対立することもあるのです。

この典型的な例が捕鯨についての考え方です。哺乳類最大の動物である鯨を殺して食べることはとても残酷だというのが西洋の一部分の海洋動物保護者の考え方です。一方、日本では鯨を食べることが食文化として古くから成立しています。

市場主義が減ぼす野生動物

中央シベリアに暮らすエヴェンキ人は、狩猟で生計を立てています。そのため捕り過ぎて動物を絶滅させるなどしない仕組みが、生活文化の中に組み込まれています。この根本にあるのは自給自足の考え方です。自然のバランスを崩さないルールを、狩りをする場合にも守っているのです。ところが外部から業者が毛皮などを買い付けに来ると、ルールが崩れてしまいます。例えば黒テンなどは高値で取引されるので(と言っても業者に中間マージンを取られます)、生態系のバランスを崩すほど捕り過ぎてしまうのです。市場の論理が入ってくることで、伝統的文化が壊されているのです。

文化的情報を発信することの重要性

牛のフンは、一般的にはゴミと考えられています。ところがモンゴル語では、牛のフンをフンやゴミとせず、「アラガル」と言います。アラガルはゴミではないのです。なぜならアラガルを乾燥させると燃料になり、粘土を混ぜると建築材料となるからです。また、ラクダのホルゴル(フン)と羊のホルゴル(フン)は子どもたちの遊び道具(日本の囲碁に似た遊びで、ホルゴルは駒になる)になります。

ここに見られるのは、明らかな文化の違いであり、善悪の判断がつかような問題ではありません。ただし西洋の主張を一方的なものにしないためには、アジアに暮らす少数民族も自分たちの考え方や文化を、例えばインターネットなどを使って世界に向けて発信することが大切です。

[←ホームへ戻る](#)

[この講義をメールで友だちに紹介する](#)



興味が湧いてきたら文化人類学、生態人類学が向いているかも!



大阪大学
グローバルコラボレーションセンター 准教授
思 沁夫 先生

[先生への講義を見る](#)

私は内モンゴルの大草原で、遊牧民の一人として育ちました。遊牧民の暮らしで何より大切なのはリズム感です。リズムは人により、また文化によっても異なるものです。あなたも、ぜひ自分なりのリズム感を見つけて、それを大切にしてください。そして自分だけのドラマ、物語のある人生を歩んでほしいと思います。人は個性を生かすほど幸せになることができますし、自分の力をより発揮することもできます。ぜひ自分の物語を生きてください。

また毎日勉強に励むあなたには、一日一回大きく笑うことをお勧めします。

講師 思 沁夫 先生がいらっしゃる
大阪大学に関心を持ったら

自由な学風と進取の精神が伝統である大阪大学は、学術研究でも生命科学をはじめ各分野で多くの研究者が世界を舞台に活躍、阪大の名を高めています。その理由は、モットーである「地域に生き世界に伸びる」を忠実に実践してきたからです。阪大の特色は、この理念に全てが集約されています。また、大阪大学は、常に発展し続ける大学です。新たな試みに果敢に挑戦し、異質なものを迎え入れ、脱皮を繰り返すみずみずしい息吹がキャンパスに満ち溢れています。



[大学のパンフを請求する](#)



[同じ大学の他の講義を見る](#)



[大学のホームページを見る](#)